

式辞

日一日と暖かさが増し、風の匂いにも、春の訪れが感じられる 季節となりました。本年度の卒業式は、新型コロナウイルスの蔓延により開催そのものが危がまれたところでしたが、本日ここに、海田町教育委員会教育委員 米丸よしひろ様、そして保護者の皆様のご出席のもと、第四十一回 海田町立海田南小学校卒業証書授与式を挙行できますことを心より感謝申し上げます。

保護者の皆様、本日は、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。本来でしたら、在校生も一堂に会して、お祝いの呼びかけや歌声で、お子様の旅立ちをお祝いするところですが、卒業生の皆さんの安全のため、参加者の限定と、時間短縮による実施となりますことをご理解いただけますと幸いです。

さて、卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。そして、久しぶりに皆さんにあえて、こうして直接、お祝いの言葉を伝えることができ、私はとてもうれしいです。学校は、子供たちのためにあるものだという事を、今日またあらためて、感じています。

先ほど担任の隆杉先生、宮地先生、白石先生、向井先生、吉岡先生の、思いをこめた呼名に対して、皆さん一人一人が返事をする姿をみて、胸が熱くなりました。先ほど皆さんに手渡した卒業証書には、「小学校の全教育課程を終了した」と書いてあります。これは、小学校で学ぶべき事をすべて学び終えたという意味です。この事を自覚し、今ここに座っている自分に自信と誇りをもってください。

そのことは、卒業生の皆さんの、たゆまぬ努力の結果であることは言うまでもありません。ですが、あわせて、これまで皆さんを、励まし支えてくださった方々のことを忘れてはなりません。

毎日 おいしいご飯をつくってくれたのはだれですか。
熱が出た時、寝ないで看病してくれたのは誰でしたか。
うれしいことがあったら まるで自分のことのように喜び、
辛いことは一緒に涙し、どんなことにでも、真剣に相談にのってくれた人はだれでしたか。
ご家族をはじめとする 多くの方々のおかげで、今日、この節目の日を迎えることができました。感謝の気持ちを、言葉にして お世話になった全ての方へ伝えてほしいと思います。

さて、卒業生のみなさん。みなさんは1年間、海田南小学校のリーダーとして、様々な場面でJAK+H(自分の頭で考え、人のために働くことを)、して、下級生のあこがれの存在となってくれました。

全校朝会では常に、1番に集合して静かに待つ姿がありました。

2号館の6年生教室横のトイレのスリッパはいつもきちんと整っていました。

授業中、そつとうしろの扉から入ると、集中して学習する姿の中に静かに会釈をしてくれる人もいました。教室の中は、いつも穏やかであたたかい空気に満ち溢れていました。

思いやりと協調性が6年生の美しく響き合う歌声をつくり、本格的なコンクールへの出場も果たしました。

わたしにとって卒業生のみなさんは「自慢」の皆さんでした。

皆さんは四月から中学生です。

ここにいる先生たち全員が卒業生の応援団です。そして今日、参加できなかった在校生や地域の皆様も、みんなみんな、卒業生の皆さんの応援をしています。

中学生になって新しい環境での生活では、楽しい日もあればつらい日や思い通りにいかない日もあります。今回の卒業式も例年のようにはできませんでした。でも、そういったことを嘆くことよりも、楽しい日だったら、その一日に、あらためて感謝の気持ちを持ち、つらい日だったら、

『今日は、しんどいこともあった日だったけど、これは、きっと、自分が、もっと賢くなるためのJAKのチャンスをもらった日なんだ。』

と前向きに考えて、前進してください。

卒業生の皆さんの未来が明るく輝き、希望に満ちたものになることを願い、式辞といたします。

令和二年三月十九日

海田町立海田南小学校長 重森 栄理